

やしま第一健康ランド

Yashima Daiichi Kekou Land
(香川県高松市)



高松には温泉がたくさんある。今回紹介する健康ランドは温泉ではないが、老舗だ。おそらく、スーパー銭湯という言葉が生まれる前からあった施設である。

施設は巨大で24時間営業。駐車場も巨大だ。屋島1周ランニングをして、この風呂に入るもよし。風呂に入って休憩スペースで仮眠をするもよし。この健康ランドは様々な利用方法が考えられる。高松祭当日はここから花火を見ることもできよう。

館内に入り、下駄箱の鍵をフロントに預け、利用料金を支払うと、ロッカーの鍵とタオルセットを貸してくれる。ゲーセンを通り過ぎ、脱衣室に入る。脱衣室にはロッカーがなんと628個もある。脱衣室には洗面台4個、無料で使えるドライヤーが7個、冷水器があり、ヘアブラシ、麵棒、ヘアリキッド、トニック、ローション、乳液などのアメニティーが揃っている。

浴室に入るとまずあるのがシャワーブース3個。上部と横からの水流を楽しめるボディーマッサージブース、上部に4個のシャワーヘッドがあるブース、水流が多そうなヘッドを備えるブースの3つがある。

洗い場は24か所あり、シャンプー、コンディショナー、ボディーソープ、フェイスソープ兼シェービングフォームが具備されている。使い捨ての髭剃りと歯ブラシも浴室内で無料で入手可能だ。この歯ブラシが珍しい。開封すると歯ブラシしか入っておらず、歯磨き粉がない。何もないよりはましかと思っただけで、しばらくして口の中が泡だらけに。つまり、ブラシに歯磨き粉があらかじめ染み込ませてあったのである。

浴槽は多彩だ。ジャグジーは定員 15 人程度で適温。マッサージ流が 2 か所ある浴槽は定員 10 人程度で適温。白湯で「熱い湯」と書かれた浴槽は定員 15 人程度。湯温は 42.5℃～43.5 と表示されているので、全然熱くない。これでは熱い風呂好きの江戸っ子に笑われてしまう。薬湯は 2 つあり、一つは「ハッカの湯」。入浴後は体がひんやりする効果があるという。夏の暑い時期にはお勧めの浴槽だ。定員は 10 人程度、湯温はややぬるめだ。もう一つの薬湯はヘルスビューティー社の漢方薬湯「健美泉」。様々な生薬が含まれており、独特のにおいがする。定員は 10 人程度、湯温は適温だ。さらに奥へ進むと檜湯で「たぬきの湯」と書かれた場所がある。5 人分の寝風呂がテレビに向かって配置されており、テレビの手前にも 10 人くらいは入れるスペースがある。湯温はややぬるめだ。

露天風呂もある。定員 15 人程度で、適温。小屋組みがあり、底には大きな石が敷き詰められている。ほてった体を冷やすスペースも豊富だ。

さらに凄いのはスイミングプール。その名の通り、浴槽というよりはプールである。水深は 90cm、長さは 15m と立派だ。ここだけは浮き輪も使用 OK。子供たちが大はしゃぎで遊んでいる。おかげで浴室内は大変騒々しい。

サウナはドライサウナと塩サウナの 2 種類。ドライサウナは浴室内手前側にあり、室内温度 90℃、定員 40 人程度と巨大だ。テレビもある。ドライサウナの近くには水風呂、かけ湯もある。塩サウナは奥の方にある。室内温度 80℃、定員は 6 人ほど。テレビもある。塩サウナの外には、既に紹介したシャワーブースとは別のシャワーブースが 2 か所あり、体につけた塩を洗い流すことができる。

浴室は巨大であるが、さすがにロッカーの数である 600 人も入れるキャパシティーはない。この施設は風呂だけでなく、レストラン、宴会、バーベキュー、ビアガーデン、エステ、マッサージ、あかすり、ムービーシアター、ゲーセン、休憩スペースなど様々なサービスを 1 日ばかりで楽しめるようになっている「大型スパリゾート」。ロッカーはそれらのための荷物置き場にすぎない。やはり、やしま第一健康ランドは、元祖スーパー銭湯である。

DATA

名称	やしま第一健康ランド
所在地	香川県高松市屋島西町 2274-5
電話	087-841-1126
営業時間	24 時間営業
定休日	無休
入浴料	大人 (12 歳以上) 1,620 円、子供 (5 歳以上) 972 円、4 歳以下無料 深夜 (2:00~5:00) 料金 1,080 円、2 時間プラン大人 864 円
サウナ	あり
サウナ内のテレビ	あり
取材日	2019 年 8 月 13 日 (火)
取材	銭湯愛好会東京支部
(本データは取材当時の情報です。あしからずご了承ください。)	